

名古屋地域

カブ隊・ビーバー隊夏季キャンプ

名古屋西部地区 名古屋第126団 団委員 稲垣由美子

7月13～15日 旭高原少年自然の家にて夏季キャンプを行いました。ヤクルトの工場見学後、向かった旭高原では、湧水地を見たり、キノコを探したり約7キロのハイクをしました。名古屋よりは少し涼しくてみんな楽しそうでした。

木を削ってからきれいにやすりをかけてスプーンを作ったり、木のつるや実でリースを作ったり、時間をかけてこだわりの作品ができました。翌日のカレーは自分で作ったスプーンで食べてご満悦！

将来の夢をスピーチしたり、ダンスを披露したり、自己表現も上手になってきて成長を感じた3日間でした。



科学館見学

名古屋北斗地区 名古屋第69団 カブ隊長 藤川照夫



名古屋北斗地区 名古屋第69団カブ隊は6月30日、ビーバー隊と合同で名古屋市科学館の見学に行きました。組集会で回る順番を決めたのでどこに行こうか迷うことなく見学することができました。ボーイ隊からデコンチが来てくれたので、わからないことを教えてくれたり、一緒に体験することが出来たのでスカウトにとってとても楽しい活動だったと思います。最大の目的であるプラネタリウムは、子供向けのファミリーアワーではなく一般投影だったのでスカウトにとっては大分難しかったかもしれませんが、楽しめたようでした。



徳重ヒルズウオーク夏祭りでPR活動を実施

名古屋巽地区 名古屋第58団 副団委員長 高橋喜寛



7月26日(金)徳重の夏祭りの巽地区が出店したPRブースで名古屋第51団と合同でPR活動を実施しました。

当日は地区のブースで地区役員、RS・VS隊および各団関係者がクラフト指導や巽地区が作成したオリジナルうちわやリーフレットの配布などを通じてPR活動を行いました。「紙コップでぶんぶん」は特に小さい子供たちにとっても好評でした。台風の影響を受けながらも、ぶんぶん約70名、バードコール約100名受付、うちわは約1000枚配布と巽地区と一体でPRすることができました。

